

平成27年度広島県合同輸血療法委員会

平成27年度事業計画案

輸血前後の感染症検査の手順書の作成

- 輸血療法を行う医療機関の検査体制づくりや患者へのアプローチ等のソフト面の充実を図るための一助とするため、輸血前後検査の手順書を作成する。
- 中小の医療機関も実行可能で、様式の統一を図ることで業務の効率化も図る。
- 輸血を受けた患者が2～3カ月後に医療機関で確実に輸血後検査を受検してもらうため、輸血履歴が患者携帯用の輸血手帳(仮称)も作成する。

平成27年度の委員会活動の概要

- 県合同輸血療法委員会の開催(6月27日)
- 輸血前後の検査手順書の作成【新規事業】
- 輸血療法に関する調査の実施(継続と発展)
- 医療機関からの相談応需事業の実施
- 合同輸血療法委員会研修会の開催
(平成28年2月6日(土)予定)
- 報告書の作成

輸血療法に関する調査の実施

- 平成23年度から実施しているアンケートの基礎的な内容は継続して実施するとともに、専門度の高い分野に対する詳細な質問を追加するなど、改良した内容での調査を行う。
- 公表に際してもまれな疾患により個人が特定できないよう十分に配慮し、病院名の公表は同意が取得された場合のみとする。
- 集計及び解析結果は、「広島県合同輸血療法委員会」報告書として作成し広島県内の医療機関に配布する。
 - アンケートは、病院ごとの集計値であり個人情報を含まないため、疫学研究倫理指針及び臨床研究倫理指針には抵触しない。
 - 昨年度に引き続き、医療機関名の公表に同意された施設については、回答状況の一部を公表する。

広島県合同輸血療法委員会の開催

- 日時 平成27年6月27日(土)15時～17時
- 場所 日本赤十字社中四国ブロック血液センター
- 内容
 - 平成26年度事業実施報告
 - 平成27年度事業計画案
 - 「輸血前後の感染症検査の手順書」に係る各医療機関の状況報告及び意見交換
 - その他

医療機関からの相談応需事業の実施

- **対象**：「輸血療法の実施に関する指針」を、より遵守しかつ輸血療法の標準化を模索している医療機関
- **実施の方法**：日本輸血・細胞治療学会のプレビュー-Aによる外部評価であるI & Aを参考に委員会で作成したチェックリストを活用して実施する。
- **実施件数(予定)**：5施設程度
- **内容**：各医療機関が、血液製剤をどのように使用しているか、実際に医療機関を訪問して確認し、医療機関からの相談に応需する形とする。

広島県合同輸血療法研修会の開催

- **目的** 平成23年度から継続して開催し、県内で輸血医療を行う医療機関の医療従事者等を対象とした研修会を開催し、適正使用の普及啓発に資する。
- **内容** 輸血療法等に関する特別講演及び県内医療機関からの情報提供等とし、参加者の知識の向上に寄与する。
- **日時** 平成28年2月6日(土)
14時～17時(予定)
- **場所** 日本赤十字社中四国ブロック血液センター(予定)
(広島市中区千田町)
- **講演 講師**(予定)
山口大学医学部附属病院 輸血部
藤井康彦先生

広島県ホームページを活用した資料の公表

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/59/h26goudouyuketuinkai.html>

